

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月24日

計画の名称	山梨県流域下水道の総合的な整備の推進および機能の向上（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	山梨県												
計画の目標	下水道施設・設備の整備及び機能向上を行い、安心・安全、快適な社会を創出する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	830	A	830	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27当初	中間目標値 H29末	最終目標値 H31末
1	富士北麓流域における未普及対策における管渠施設類の整備率を0%（H30）から100%（H31）に増加。 富士北麓流域における未普及対策における管渠施設類の整備率 管きょ施設整備箇所数（箇所） / 管きょ施設整備（1か所）	0%	0%	100%
2	桂川流域における管渠の整備率を89%（H27）から91%（H31）に増加。 桂川流域における管渠の整備率 管渠について 整備完了延長(km) / 管渠全延長(47.9km)	89%	90%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	山梨県	直接	山梨県	管渠(汚水)	新設	富士北麓流域幹線管きよ	流量計N=1箇所(汚水)	富士吉田市外						30		策定済
		A1-1-3(重点)																	
	A07-002	下水道	一般	山梨県	直接	山梨県	管渠(汚水)	新設	桂川幹線管きよ	管きよ敷設工事L=520m(汚水)	大月市外						800		策定済
		A1-4-3(重点)																	
												小計						830	
											合計						830		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 山梨県独自に評価を実施	事後評価の実施時期 交付期間終了後
	公表の方法 山梨県ホームページ内
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	桂川流域の幹線管渠の全延長47.9kmのうち、43.9kmの整備が完成し、下水道未普及地域の解消に向けて進捗した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、社会資本総合整備計画に基づき、流域下水道の整備を推進する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
供用開始後の流量が、想定した流量を下回っていることから、流量が増えるまでの間整備を延期することとしたため。		
2	最終目標値	91%
	最終実績値	92%
事業が順調に進捗したため、目標値を上回った。		